



ごうつ

市議会だより

題字：木村 友香さん
(郷田小6年)

2015. 11 No. 125

平成27年度一般会計 補正予算

可決

補正額 **4億3,955万円**

(総額162億4,015万円)



(パブリックビューイングのイメージ)

中心市街地整備事業

6,364万円

問 指定管理者はどこに任せるのか。

答 駅前に関係する団体に任せる予定にしている。



(西部島根医療福祉センター)

地域医療支援対策事業

2,210万円

問 国・県の予算枠の関係で要求金額の約半分補助するとのことだが、本来は県が補助するべきでは。

答 国・県に働きかけを行ってきたが、予算措置がいつになるのか分からないと施設側が判断したため。



ふるさとづくり寄付金事業

2,987万円

内容

税制改正で特例控除額が2倍に引き上げられたことなどにより見込数の倍にあたる8,000件以上の寄付が予想されるため経費の増額を行うもの。



市庁舎改修調査事業

1,539万円

内容

平成26年度より実施した、市庁舎への調査を踏まえ、耐震診断業務を行うもの。

委員会ピックアップ

総務文教委員会

番号法（マイナンバー制度）

=内容=

番号法（マイナンバー制度）の施行に伴い、新たに付番される個人番号を含む個人情報の適正な取扱いを行うもの。

《委員質問》

問 セキュリティ対策はどのようになっているのか。

答 税・住基・国保などを扱う電算システムはインターネットにつながっていないのでウイルス感染の可能性は低い。また人的な問題については他の事務も含め研修を行い、レベルアップを図る。



建設厚生委員会

江津駅前開発

=内容=

江津駅前に建設中の公共公益複合施設の名称を「江津ひと・まちプラザ」とし、施設の設置及びその管理に関する事項を定めるもの。

《委員質問》

問 駐車場料金を取るということは、にぎにわいを作っていくという目的からいけば逆行しているのではないか。

答 無料にすることは難しい。他の施設も参考にして30分無料、以降1時間毎に100円頂きたいと考えている。

条例改正・手数料条例

=内容=

「番号法」の施行に伴い、住民に対して個人番号が通知され、通知カード及び個人カードについては、無料交付するが、再交付時には手数料を徴することから所要の改正をおこなうもの。

平成26年度
決算認定

賛成 (11)

反対 (2)

	歳入総額	歳出総額
一般会計	185億8,605万円	177億9,599万円
特別会計(6会計)	51億4,266万円	51億2,191万円

水道事業会計	収益的収支	収入総額	6億6,353万円	歳出総額	7億4,208万円
	資本的収支	収入総額	8,965万円	歳出総額	2億5,201万円

平成26年度予算

災害復旧・定住促進を 最重点に予算編成

企業立地推進事業

7,404万円



(企業立地が進む江津工業団地)

問 人口増を目指した平成26年度事業の総合的な評価はどうか。

答 企業立地推進などで久しぶりに社会動態がプラスに転じた。

生活交通バス事業

1,395万円

問 利用状況を見るに、市民のニーズに合致した運行が必要ではないか。

答 27年度末に策定される地域公共交通網形成計画で検討する。

決算特別委員会

- ◎委員長 河野 正行
 - 副委員長 坪内 涼二
- 委員は議長及び監査委員を除く10名

特定中山間保全整備事業

7億8,539万円



(桜江町 日桜ロード)

問 過疎債による繰上一括償還は、借金を増やすことになるのではないか。

答 今後、15年分割で支払う負担金を過疎債を活用し一括で支払うことにより、後年の負担を約3億円軽減できる。

災害復旧費

16億7,694万円



内容

平成25年8月豪雨災害により被災した市道・河川及び農地の復旧事業が着実に進んでいる。

地域医療支援対策事業

3億3,551万円



(済生会江津総合病院)

事業実績

電子カルテシステム整備事業	1億5,500万円
医療機器整備事業	4,889万円
産科医等確保支援事業	90万円
公的病院支援事業	5,041万円
医師・看護師等確保対策事業	7,430万円
経営支援事業	600万円

中心市街地再生整備事業

8億6,792万円



整備中の江津駅前

地域コミュニティ活性化事業

4,914万円

問 各コミュニティで行っている自主財源を確保するための事業の状況は。

答 特産品づくりなどに取り組んでいるが、まだ利益が出る状況にはなく、収支の把握もしていない。

決算要望事項

一般会計・特別会計

1. 地方創生・定住施策

● 中心市街地の活性化・経済活動の活発化

● 定住につながる子育て支援策の充実

● 雇用の場・人材の確保

● 空き家対策

● 地域コミュニティ事業の推進

2. 行財政

● 公共施設の活用・統廃合・再編の具体的な取り組み

● 新たな行財政改革の計画作成

3. 教育行政

● 学力の向上および教育力の向上

● 教育環境の向上・文化施設の整備

4. 地域医療・健康増進対策

● 医師・看護師の確保対策

● 市民の健康増進意識の啓発

5. 事業評価

● 数値で事業評価の結果を示す

6. 国民健康保険事業

● 国保会計の健全化

7. 公共下水道事業

● 抜本的な計画の見直し

水道事業会計

1. 新地方公営企業会計制度

● 経営成績や財政状況を分析した健全経営

2. 経営状況

● 経営効率化・合理化による安心安全な水の供給

本会議における賛成・反対意見

議案第50号 江津ひと・まちプラザ条例

可決

反対・多田伸治	<p>江津駅前複合公共施設の使用料を、市民から「高い」と言われている総合市民センターの使用料をもとに設定したのでは、施設の利用促進につながらない。また、駐車場を有料にすれば、市民が気軽に立ち寄る施設にはならない。施設の使用料をもっと安価にし、駐車場は最初から無料にすべきであり、条例案には反対。</p>	賛成・鍛冶恵巳子	<p>条例案は、公共複合施設の管理・運営を定めるもので、市全体の活性化と住民福祉の増進へ寄与する、重要かつ妥当な条例。使用料は近隣施設をもとに設定。指定管理者制度の導入で、利用者負担の軽減も期待できる。限られたスペースに施設利用者が駐車できない事態の回避のためにも、駐車料金の徴収は必要であるため賛成。</p>
----------------	---	-----------------	---

議案第51号 個人情報保護条例

可決

反対・森川佳英	<p>マイナンバー制度にかかわる条例改定で、質疑では安全対策は万全とされたが、県内自治体の60%が「安全性に不安がある」としている。銀行口座へ、ひも付けする法改定や消費税の軽減税率還付で利用する案があり、番号カードの用途拡大で、情報流出の危険性は高まる。流出による悪影響は計り知れず、市民にメリットはないため反対。</p>	賛成・永岡静馬	<p>番号法は10月から施行され、本市でも住民基本台帳・税・社会保障・防災の事務で、特定個人情報を取り扱う。条例改正は、番号法の規定に沿い個人番号を含む情報を適切に保護するもので、この改正がなければ「適切に保護されなくてもよいこと」になる。市民の特定個人情報を保護するには、先延ばしできない条例改正であり賛成。</p>
----------------	---	----------------	---

議案第52号 手数料条例

可決

反対・多田伸治	<p>マイナンバー制度は市民が求めたものではなく、国が国民の情報を一元管理するための制度であり、市民にメリットはないばかりか、個人が日常的にカードを携帯することを意図しており、情報漏えいの危険性は高い。その制度に関連した手数料の改定条例であるため反対。</p>	賛成・藤間義明	<p>地方公共団体は、すでに可決成立した法律の施行を準備し、法律を遵守しなければならない。個人番号制度を否とすれば、本市の行政事務だけが取り残され、住民の不利益や行政サービスの混乱を招くことから条例に賛成。</p>
----------------	--	----------------	---

議案第53号 一般会計補正予算

可決

反対・森川佳英	<p>予算案にある跡市地区での防災無線戸別受信機の無料設置は、議決なしですすでに執行され、市庁舎の耐震改修調査費も、市設置の検討委員会の結論を待たず予算提案された。「防災のために早い対応が必要」との答弁だが、臨時議会開催や検討委員会のスケジュールに合わせた予算提案もできた。その努力もない議会軽視の予算案には反対。</p>	賛成・田中利徳	<p>補正予算案は、「防災対策」「地域医療支援対策」「産業・地域振興対策」などを中心に編成されている。予算委員会の審議では「市庁舎耐震診断業務」「防災情報伝達システム整備事業」などが議論となったが、いずれの予算も、本市の今後の行政運営、また安心安全な市民生活に必要なものと考え賛成する。</p>
----------------	---	----------------	---

議案第54号 国民健康保険会計補正予算

可決
反対・多田伸治

補正予算案は27年度の国保料値上げを含む。市民は厳しい経済状況にあり、国保被保険者3650世帯の46%が所得ゼロで、国保料値上げは地方自治体の役割「住民の福祉の増進を図ること」に反する。値上げでの増収が931万円なら、27年度末で残高1億円以上の国保基金を取り崩し、値上げしない取り組みが必要であり、補正予算案には反対。

賛成・坪内涼二

補正予算案は、暫定的に編成されていた当初予算へ、医療費の動向による保険給付費の見直し、所要経費の確定、料金改定による保険料の収入見込みを盛り込んでいる。一般会計からの繰入や基金の取り崩しを行うと同時に、被保険者にも応分の負担をお願いするものだが、被保険者に一定の配慮がされたものになっているため賛成。

議案第56号 後期高齢者医療会計補正予算

可決
反対・多田伸治

補正予算案は、後期高齢者医療事業とマイナンバー制度をひも付けする。その目的は過剰な社会保障給付を受けていないかをチェックするためとされるが、これまで社会保障を削りに削ってきた国のやり方を省みれば、高齢者にとって必要な医療がさらに削られる可能性がある。そのような制度導入は絶対に許されないため予算案に反対。

賛成・鍛冶恵巳子

地方公共団体として、可決成立した法律に対しては、施行まで定められた準備をしていくことが必要で、個人の見解とは別に決められた法律を遵守することは当然。マイナンバー制度は本条例案の可否とは関係なく全国でサービスが始まる。本市の行政事務だけが取り残されないように配慮した予算措置であるため賛成。

認定第1号 平成26年度一般会計決算

認定
反対・森川佳英

経営改善のない済生会への財政支援、サービス低下につながる民間への業務委託、状況把握のない自衛隊員募集事業、所得向上につながらない農林水産業支援、同和事業への不公平な支出など、市民の暮らし向上につながらない施策があった。今後の子育て世帯への負担軽減や生活交通の充実などを求めて、決算認定には反対する。

賛成・島田修二

平成26年度予算は、平成25年8月の災害復旧と、最重要課題の定住促進4大プロジェクトに重点を置いた編成がされており、本市の様々な課題に対し、厳しい財政状況の中、限られた財源を有効に活用している。また、節減にも努め黒字決算となっている。予算の執行状況、また財政指標も適正であり決算認定に賛成する。

反対・多田伸治

答弁では、福祉や利便性の向上が図られたとしたが、人口は減り、地域の活力が薄れている。原因は、市民の所得増や貧困対策の取り組みが弱いこと、子育ての負担軽減や生活交通などで市民要望が反映されないこと、市民の文化レベル向上の取り組みが不十分なことにある。今後の予算ではそれらを反映すべきであり、決算認定には反対。



認定第2号 平成26年度国民健康保険会計決算

認定
反対・多田伸治

24年度決算では、23・24年度の国保料値上げを踏まえ、病気予防で医療給付費抑制が必要と指摘したが、直後に編成された26年度国保会計では、医療給付費が25年度比で2400万円増加し、医療給付費抑制ができていない。結果、27年度で931万円の歳入増となる国保料値上げとなった。指摘を活かせず負担増となった決算認定には反対。

賛成・藤間義明

平成26年度は、基金繰入で保険料を据え置き、限られた財源で安定的な財政運営を図った。そして医療給付費抑制のため、特定健診ではアンケート実施で課題を洗い出し改善を図った。また、ドック受診の助成や、がん検診の自己負担なしで、受診者増加を図って、医療給付費抑制に積極的に取り組んだことから決算認定に賛成する。

認定第6号 平成26年度簡易水道会計決算

認定

反対・多田伸治

決算には桜江町での簡易水道の料金値上げが含まれる。合併協議では「サービスは良い方に、負担は軽い方に合わせる」とされたが、それを反故にし、負担の高い江津の制度に合わせ、地域住民には意見も求めず、賛否も問わず値上げが実施され、桜江地域全世帯で負担増となった。市民との約束が果たされていない決算であり反対。

賛成・討論なし



議案番号	件名	議決結果	坪内涼二	鍛冶恵巳子	田中利徳	多田伸治	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	島田修二	石橋孝義	河野正行	土井正人	田中直文	永岡静馬	藤田厚
報告第7号	平成26年度江津市一般会計継続費精算の報告について	—														
報告第8号	専決処分報告について（損害賠償の額および和解について）	—														
議案第50号	江津ひと・まちプラザ条例の制定について	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	江津市個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	江津市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成27年度江津市一般会計補正予算（第3号）を定めることについて	//	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第54号	平成27年度江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第55号	平成27年度江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成27年度江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	平成27年度江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	平成27年度江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	平成27年度江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成27年度江津市水道事業会計補正予算（第1号）を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成26年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成26年度江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成26年度江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成26年度江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成26年度江津市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成26年度江津市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成26年度江津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	平成26年度江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

市議のQ

江津市をもっと

喜ぶじやあつねるには、

こうしたらいいな

市のA&

一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」↓「会議録検索」から見ることができます。ただし掲載は次期定例会の前になります。

地域医療の
将来は

永岡 静馬

Q 全国的に医師・看護師不足が問題となっているが、済生会の現状は。

A 4月から、常勤医師は5名減の15名、看護職員は3名減の145名となり、18の診療科のうち9科で常勤医師が不在で、大学派遣の非常勤医師により診療されている。このため、昨年比で入院は24%減、外来は16%の減となり、経営も厳しいが、医師にとっても過酷な勤務状況が続いている。

Q 総合診療医の受け入れを進める考えは。

A 済生会でも総合診療専門医の研修・育成へ積極的に取り組む考えであり、そのための指導医の確保にも取り組む方針。

Q 県が地域医療ビジョンを策定中だが、本市の考えは。

A 急性期から在宅医療まで提供し、地域住民にとって安心感と存在感のある病院の機能が求められると考える。



地域医療の将来を担う病院

安全保障法案 市長の考えは



森川 佳英

Q 国民多数が安保法案に懸念を抱いている。市長の考えは。

A コメントは控えるが、関心を持って注意深く見守る。

Q 憲法9条の定める戦争放棄をどう考えるか。

A 自衛の為の武力行使は否定されていない。

Q 全国10000力以上での法案反対の運動や世論の動向をどう

考えるか。

A 自由な活動が許されていることは、自由で平和な国であると思う。法案は拙速に決めるのではなく、慎重な議論が尽くされるべき。

Q 9条を世界にアピールするところが、日本の平和を守ると考えるが、市長はどう考えるか。

A これまでは憲法を守り平和主義を発信してきた。今後は「積極的平和主義」を掲げて世界平和に貢献するべき。

Q 全国の首長が法案への談話を出すなどしているが、どう考えるか。

A 私の美学とは相容れないので、談話を出すなどはしない。



済生会の 経営再建



多田 伸治

Q 本市は済生会へ財政支援しているが、市民の協力を求めるなら、経営状態の情報開示が必要ではないか。

A 情報が独り歩きすると、医師・看護師の病院離れもありうる。できる範囲で情報開示していきたい。

Q 市民の支援を得るには、院内改革が必要ではないか。

A 意見箱を設置し、院内の管理

委員会で改善内容を協議する。患者へのアンケートもパートナーシップ委員会で集約し、サービス向上に努めている。

Q 国や県は病床減の方針だが、済生会の病床閉鎖で、浜田や出雲へ入院せざるを得ない市民もいる。医師・看護師を確保して300床を維持すべきでは。

A それだけの医療を求める患者数があるのか、見極める必要がある。県が策定する医療ビジョンでは、浜田医療圏での調整もされる。江津市の実情を県へ訴え、できるだけ数字が確保できるよう取り組む。

Q 県からは済生会への財政支援がない。県へ財政支援を求めるべきではないか。

A 県が済生会だけ支援するのは難しいと思う。県は医療提供体制を守るために大学を支援しており、県が全くやってないというものではない。済生会の支部会長は溝口知事だが、支部会長と知事の立場は違う。

市民の健康と
命を守るために



鍛治恵巳子

Q 本市は県内8市で最も平均寿命・健康寿命が短く、働く世代の脳卒中は県平均の1.7倍。対策と目標は。

A 職域保健部会活動で働く世代の健康を推進する。策定中の健康増進計画により、平成29年度には県並みに改善させる。

【児童虐待】
Q 浜田圏内での児童虐待の相談件数・通報件数・現状は。

A 平成26年度で浜田児童相談所への通報は52件。新規の虐待認定は11世帯23人。

Q 児童相談所全国共通ダイヤル189の周知へ取り組みを。

A 11月を児童虐待防止推進月間と定め、集中的な広報・啓発活動を実施する。

【避難訓練】
Q 車椅子利用者や福祉施設利用者への安全対策を。

A 災害時の車椅子での移動をより安全に行えるよう研究していく。



車椅子を使つての避難訓練

障がい者福祉の
充実を



坪内 涼二

Q 本市主催・共催・後援行事における障がい者優先・優先席の導入を。

A これまでも行事や会場によっては、配慮している。今後も障がい者が参加しやすい配慮・環境づくりを求める働きかけを行う。

Q 福祉タクシー券の増額を。

A 要介護認定者について

も課税・非課税世帯に関わらず助成している。助成増額は、財政状況を踏まえ慎重に検討していきたい。

Q 人工透析患者通院交通費助成の課税世帯への拡充を。

A 人工透析患者だけではなく、通院頻度の高い長期治療継続が必要な低所得の障がい者への負担軽減を目的としており、現在のところ拡充については考えていない。



年間500円券24枚交付される福祉タクシー券

済生会江津総合 病院への対応は



藤間 義明

Q 病院の現状は。

A 平成16年から始まった新臨床研修制度と平成18年度の診療報酬改定によって、医師・看護師の確保が困難となってきた。

Q 病院の必要性は。

A 1日当たり病院の利用は、入院170人・外来257人・救急2・4人となっており、地域医療を提供する上でなくてはならない重要な中核施設として位置付けら



市の拠点病院・済生会江津総合病院

れている。

Q 今後の病院の役割分担と連携はどうか。

A 浜田医療センターに加え、まめネットを通しての市内開業医や済生会グループ内の介護施設との連携を強化していく。

Q 医師確保の見通しは。

A 市長自ら医師確保に全力で取り組む。

建設厚生委員会 行政視察報告 (8月4~6日)

岐阜県土岐市

核融合科学研究所



7年前から交流を重ねており、改選後はじめての訪問となりました。施設内を見学させていただき、核融合発電施設の実現までにはまだまだ時間がかかるということですが、着実に研究開発が進んでいることが分かりました。

滋賀県守山市

すこやかチャレンジ事業



市民の健康的な生活習慣の定着を図るためのポイント報奨制度であり、貯まったポイントは上限1,000円の商品券に交換または寄付ができます。健康寿命を延ばす取り組みとして有効な手段であることを確認しました。

松江市玉湯町

松江観光協会玉造温泉支部



温泉街活性化のために夏休み中毎日開催される「タマステージ」と「キッズ夜店」を見学。観光協会の担当者から、入込客増へ向けての取り組みについて説明を受けるとともに、活発な意見交換が行われました。

江津市議会活動レポート

市町村議会広報研修

(議会広報・情報公開対策特別委員会)



広報アドバイザー・長岡光弘氏による講演「議会広報における紙面表現の基本」を受講。クリニックと題して実際に作成している議会だよりの添削して頂き、更に読みやすくするためのアドバイスを頂きました。

江津市音頭パレード参加

(市議会議員クラブ)



8月16日に開催された江の川祭の江津市音頭パレードに市議会議員クラブとして参加しました。当日は多くの参加があり、江津市最大のお祭りとして、にぎやかに繰り広げられました。

スポーツフェスタに参戦

(スポーツ振興議員連盟)



10月12日に開催された「市民スポーツフェスタ」のスポーツ吹き矢競技に、スポーツ振興議員連盟有志議員で出場しました。チーム戦では奮いませんでしたが、個人戦では島田修二議員が第2位となる成績を残しました。

地域医療について研修

(市議会議員クラブ)



「まちの病院をなくさないために」と題して、城西大学教授の伊関友伸氏による講演が行われ地域医療の現状や重要性について学びました。議員からも活発な質疑が行われました。

議会報告会を開催

開催日	10/31 (土)	11/6 (金)	11/8 (日)	11/14 (土)
場 所	浅利地域コミュニティ 交流センター	敬川地域コミュニティ 交流センター	嘉久志地域コミュニティ 交流センター	江津市コミュニティ センター (桜江)
時 間	19:00～20:30			
報 告 者	田中 直文 鍛治 恵巳子 多田 伸治 土井 正人	藤田 厚 石橋 孝義 島田 修二 坪内 涼二	藤間 義明 森川 佳英 河野 正行 永岡 静馬	森脇 悦朗 藤間 義明 永岡 静馬 田中 利徳

- 【内容】 第1部 9月議会報告
 第2部 パネルディスカッション
 テーマ『地域医療について』
 第3部 意見交換

次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30 全員協議会	12/1	2	3	4	5
6	7 本会議	8 議員連絡会	9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12
13	14 委員会	15 委員会	16 委員会	17 情報交換会	18	19
20	21 本会議	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

請願・陳情締切 11月26日午前中まで (郵送不可)

議会を見学しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越し下さい。

議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集 後記



田中 利徳

今年、国勢調査実施の年です。今回の大きな変更点は、インターネットによる回答の導入です。理由は、国民生活や社会環境の変化に伴って、調査員が世帯と接触することが従来より困難度を増しているからです。この導入は、利便性から見て善しとしても、市政の基本単位である各町内活動においても人間関係が希薄になる傾向は強く、現在進行中の地域コミュニティ推進の課題です。いつまでも、市民が顔と顔をつき合わせ助け合って、楽しく暮らせる江津市であれと願っています。

編集・発行責任者

議長 藤田 厚

議会広報・情報公開 対策特別委員会

委員長 島田 修二
 副委員長 多田 伸治
 委員 坪内 涼二
 委員 鍛治 恵巳子
 委員 田中 利徳
 委員 田中 直文